

第67回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和4年11月29日（火）16：30～18：00

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会	会長
岡部 信彦	川崎市健康安全研究所	所長
金井 忠男	埼玉県医師会	会長
川名 明彦	防衛医科大学校	教授
坂木 晴世	国際医療福祉大学大学院	准教授
讃井 将満	自治医科大学附属さいたま医療センター	副センター長
竹田 晋浩	かわぐち心臓呼吸器病院	理事長・院長
松田 久美子	埼玉県看護協会	会長
光武 耕太郎	埼玉医科大学国際医療センター	教授

4. 県側参加者

大野 元裕	知事
高田 直芳	教育長
金子 直史	福祉部長
澁澤 陽平	危機管理防災部副部長
山崎 達也	保健医療部長
星 永進	保健医療部 参事
板東 博之	産業労働部長
岸本 剛	衛生研究所 副所長

5. 主な意見

ア レベル分類

- レベルについては、高齢者対策を行ったうえで、総合的に判断をして、レベル2を維持していくということに異議なし。（一同）

【県の対応】

- 埼玉県レベル分類は、「レベル2」とする。

イ 病床の確保

- 病床については、余裕をもって確保していくことや地域差の把握を検討してもよいのではないか。（竹田委員、光武委員）
- 病床の確保について、国から示された病床確保料の調整に係る除外規定を活用して、知事が県内医療機関を調整の対象外として指定し、病床運用を行うことについては、異議なし。（一同）

【県の対応】

- 国から示された除外規定を活用して県内医療機関を指定し、病床運用を行うとともに、病床の上積みについては、早めに要請を行っていく。

ウ 入院調整

- オミクロン株における入院調整の考え方については、「ワクチン未接種者」の「2点」はもう少し高くてもよいのではないか。（光武委員）

【県の対応】

- オミクロン株における入院調整の考え方については、ワクチン未接種者について、検討する。

エ その他

- 医療現場では5、6人レベルの職員の小さいクラスターが出ているという話が非常に多い。換気については、国事務連絡の中に、HEPA フィルター付きの空気清浄機を併用することも有効という記述があるので、積極的に使用を検討し、医療現場を支えている職員が離脱しないような取組も必要ではないか。（坂木委員）
- 学校における黙食、マスクの着脱についての認識や保護者の理解を、ある程度一定の方向に向けていただくことはできないか。（金井委員）

【県の対応】

- 広報をしっかりと行い、周知を図っていく。
- 空気清浄機利用に関しては、医師会とも協議し、周知に努めていく。